

令和元年度 常葉大学草薙瀬名キャンパス合同研修会報告

日 時 令和元年9月18日(水) 15:00~17:00

場 所 静岡草薙キャンパス A201 教室

対 象 静岡草薙キャンパス、(TV会議)静岡瀬名キャンパス、浜松キャンパス

講演内容 「高大連続と初年次教育：学生の学習意欲を高める授業作りと学習支援」

関田 一彦 教授(創価大学教職大学院)

事後アンケート

参加者数 121人(短期大学部、事務職員含む)

現在進められている大学改革の中で、大学には、4年間の学生たちの体系的な学修を保証する標準的なカリキュラムを作ることが求められ、併せて適切な学修支援に取り組むことの重要性が指摘されています。とりわけ、大学のカリキュラムが系統的積上げの性格を強めたことで、学生の4年間の学修のベースをトータルに用意する初年次教育の役割は重要性を増しています。

そこで、本年度の草薙瀬名キャンパス合同FD研修会では、初年次教育の意義について研究を進めてこられた創価大学教職大学院の関田一彦教授を講師にお招きし、学生の学習意欲を高める初年次教育における学習支援についてご講演いただきました。

本学が全学共通で取り組んでいる初年次教育を、さらにいっそう適正で充実した取組みにするために、高大の学びの接続の必要性、キャリア教育としての初年次教育の位置づけ、特別な支援が必要な学生への対応などについて、全スタッフが課題を共有し、具体的な問題や改善のための工夫を共に考える貴重な機会となりました。